

新年度予算の内訳は

平成30年度一般会計の当初予算は、総額102億4000万円で、骨格予算であった昨年度と比較すると3億1000万円の増額となっています。

歳入では、町税は固定資産税の評価替えなどにより減収を、地方交付税は合併算定替の縮減率の増加による普通交付税の減額を、町債（借金）は、名和総合運動公園陸上競技場改修などにより増額を、それぞれ見込んでいます。自主財源比率は23.2%と低い水準になっています。

歳出では、扶助費が臨時福祉給付金の事業完了などにより減額、公債費が起債償還終了にともなう減額、物件費が各種事業の委託や備品購入などで増額を見込んでいます。

一般会計 内訳（金額・説明）

項目		30年度	29年度	比較増減	説明
歳入	自主財源				
	町税	14億1881万円	14億4372万円	△2491万円	町民税などみなさんが直接町に納められるお金
	分担金ほか	5億1133万円	4億5432万円	5701万円	分担金・使用料及び手数料・財産収入・寄付金
	繰越金	1億円	2億4000万円	△1億4000万円	前年度からの繰越金
	繰入金	3億4696万円	8579万円	2億6117万円	特別会計や基金から繰り入れるお金
	譲与税・交付金	4億2902万円	3億9432万円	3470万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	地方交付税	47億8000万円	49億5000万円	△1億7000万円	市町村の均衡をはかるために国が交付するお金
	国・県支出金	16億2608万円	16億3965万円	△1357万円	国や県が使用目的を特定して交付するお金
町債(借金)	10億2780万円	7億2220万円	3億560万円	町が事業を行うために借り入れるお金	
合計	102億4000万円	99億3000万円	3億1000万円		
歳出	義務的経費				
	人件費	16億2607万円	16億1651万円	956万円	職員の給料や議員報酬などに使うお金
	扶助費	8億8193万円	9億2165万円	△3972万円	医療費・児童手当などに使うお金
	公債費(借金返済)	13億7243万円	14億2209万円	△4966万円	町の借金を返済するためのお金
	投資的経費(普通建設事業)	8億6656万円	7億364万円	1億6292万円	道路整備・建物などの建設に使うお金
	物件費	22億6140万円	21億819万円	1億5321万円	賃金・業務委託料・消耗品・備品購入に使うお金
	補助費等	13億3864万円	13億1487万円	2377万円	補助金・負担金、自動車や建物の保険料、謝礼金など
	積立金	2億3480万円	1億5693万円	7787万円	町の基金に積み立てるお金
	繰出金	14億8123万円	15億358万円	△2235万円	特別会計に繰出金として支出するお金
	その他	1億7694万円	1億8254万円	△560万円	施設の維持補修費、貸付金・出資金などに使うお金
合計	102億4000万円	99億3000万円	3億1000万円		

貯金と借金は？

